

阪神北地域 社会基盤整備プログラム (2019～2028 年度)



阪神北の南部地域



新名神高速道路川西 I C



有馬富士公園

平成 31 年 3 月

兵庫県阪神北県民局

はじめに

平成 30 年 10 月、県では、本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化の進行など、激変する社会状況を踏まえ、本県が 2030 年に目指す姿や兵庫づくりの基本方針等を取りまとめた「兵庫 2030 年の展望」を策定しました。

この「兵庫 2030 年の展望」では、「すこやか兵庫」を目指す姿として位置づけ、その実現に向け、「防災・減災体制などの地域の安全基盤の強化」や「交通インフラの充実」、「まちの賑わいの創出」などを基本方針として掲げています。

一方、平成 30 年 10 月、県の行財政運営に係る基本的な方向等を定めた「兵庫財政運営方針」が取りまとめられました。

これまでも「社会基盤整備プログラム（平成 26～35 年度）」を策定し、計画的かつ効率的な社会基盤の整備に取り組んできたところですが、「兵庫財政運営方針」に則った一層計画的、効率的な社会基盤整備に取り組む必要が生じています。

さらに、今後の社会基盤整備においては、「ひょうご社会基盤整備基本計画（平成 26 年 3 月）」の基本方針である「自然災害に『備える』」、「日常生活や地域を『支える』」、「次世代に『つなぐ』」の視点も重要です。

このたび、これらの基本方針を踏まえ、阪神北地域の課題解決やニーズへの対応のため、新たな「社会基盤整備プログラム（2019～2028）」を策定し、緊急かつ重要な事業に取り組んでいくこととなりました。

引き続き、事業の早期完了、ひいては「すこやか兵庫」の実現に向けたご支援、ご協力をお願いします。

目次

I	今後の社会基盤整備の進め方	1
II	社会基盤整備プログラム	7

本プログラムは、県が主体的にまとめたもので、事業の実施にあたっては、関係者と十分調整を図ることとします。

また、本プログラムの掲載内容は固定化するものでなく、社会・経済情勢の変化などにあわせ、適宜、見直しながら事業に取り組んでいくこととします。

1 計画期間

前期：2019～2023 年度

後期：2024～2028 年度

※「交通安全施設整備事業」、「道路保全事業（老朽化対策）」、「砂防事業」、「ため池整備事業」、「ほ場整備事業」については、前期期間内の事業予定箇所のみを掲載しています。

2 掲載対象事業（以下の条件を全て満たす事業）

- ・ 県土整備部・農政環境部所管の社会基盤整備事業
- ・ 総事業費 1 億円以上の県事業（災害復旧事業、維持修繕事業を除く）

3 事業箇所図

- ・ プログラムに掲載した事業箇所を明示しています。

※着色区間は、該当事業の計画区域の全体を明示しているため、施工済みの区間や計画期間外の施工区間を含む場合があります。

I 今後の社会基盤整備の進め方

1 社会基盤整備の基本的な考え方

自然災害に「備える」、日々の暮らしを「支える」、次世代に持続的な発展を「つなぐ」の3つの視点に基づき、緊急かつ重要な取り組みを推進

(1) 「備える」 自然災害に備える防災・減災対策の強化

- ・発生確率が高まっている南海トラフ地震や頻発する集中豪雨等に備えた地震・津波対策、総合治水対策、土砂災害対策 など

(2) 「支える」 日常生活や地域を支える社会基盤の充実

- ・地域の交流を支える道路の整備
- ・交差点の渋滞対策や踏切の安全対策 など

(3) 「つなぐ」 次世代につなぐ社会基盤の形成

- ・地域活性化の基盤となる基幹道路ネットワークの整備
- ・今後急速に進展することが懸念される社会基盤施設等の老朽化対策 など

2 推進方策

直面する重要課題に対応した「分野別計画」に基づく事業や、県・市町の地域創生を支援する事業など地域の課題・ニーズに対応する事業を「社会基盤整備プログラム」に位置づけ計画的に実施

2028
年度

ひょうご社会基盤整備基本計画

重要課題に対応する事業（分野別計画）

◆備える

- ①津波防災インフラ整備計画（2014(H26)～2028）
- ②日本海津波防災インフラ整備計画（2019(H31)～）
- ③ひょうご道路防災推進10箇年計画（2019(H31)～2028）
- ④地域の防災道路強靱化プラン（2014(H26)～2023）
- ⑤地域総合治水推進計画（2012(H24)～概ね10年間）
- ⑥第2次ため池整備5箇年計画（2019(H31)～2023）
- ⑦兵庫県高潮対策10箇年計画（仮称）（2019(H31)～2028）
- ⑧第3次山地防災・土砂災害対策計画（2018(H30)～2023）

◆支える

- ⑨渋滞交差点解消プログラム（2019(H31)～2023）
- ⑩踏切すっきり安心プラン（2019(H31)～2023）
- ⑪通学路安全対策5箇年計画（2019(H31)～2023）
- ⑫自転車通行空間整備5箇年計画（2019(H31)～2023）
- ⑬ひょうご県営住宅整備・管理計画（2016(H28)～2025）
- ⑭第3期ひょうご林内路網1,000km整備プラン（2019(H31)～2023）

◆つなぐ

- ⑮ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画（2019(H31)～2050）
- ⑯ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画（2019(H31)～2028）
- ⑰兵庫県無電柱化推進計画（2019(H31)～2023）

社会基盤整備プログラム

2019
(H31)
～
2028
年度

地域創生など地域の課題・ニーズに対応する事業

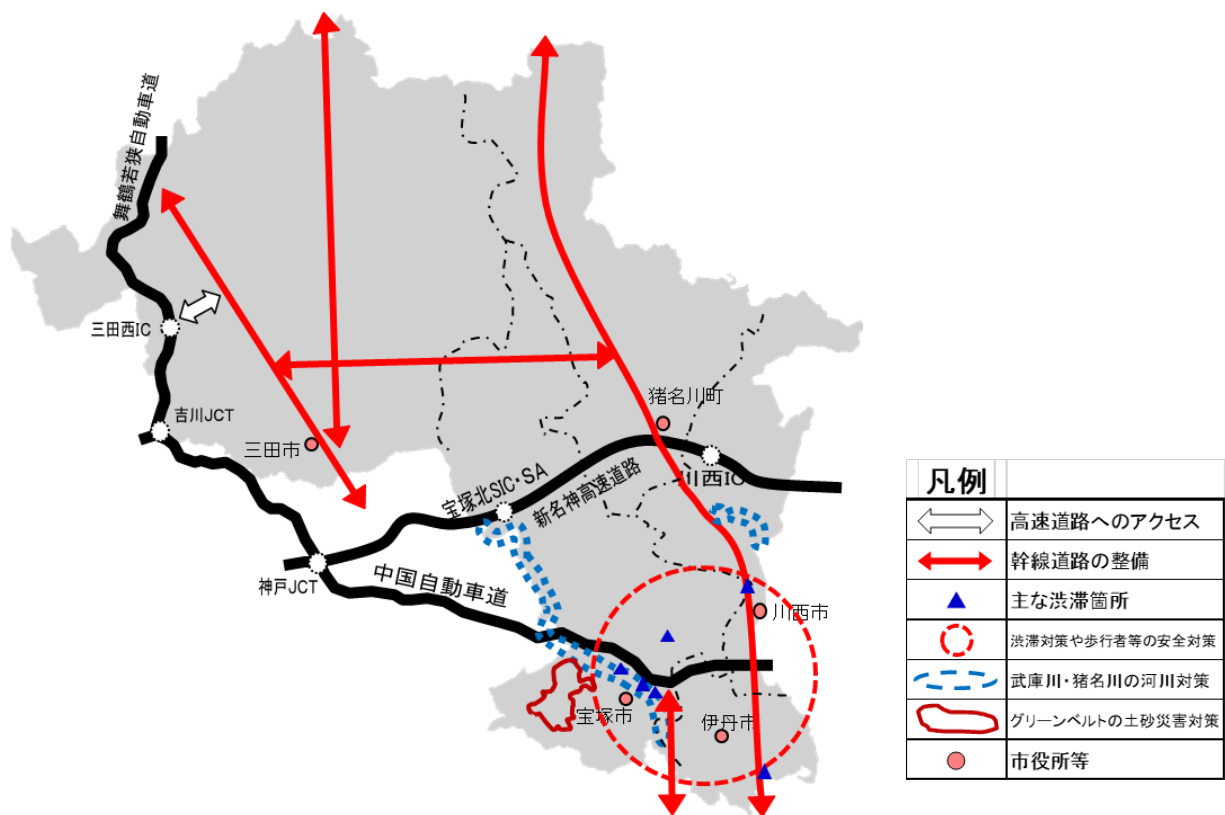
- ⑱地域創生支援（まちづくり支援、地域振興・観光振興支援等）
- ⑲地域課題の解決（待避所設置、港湾・漁港施設の整備等）

3 社会基盤整備に関する阪神北地域の課題

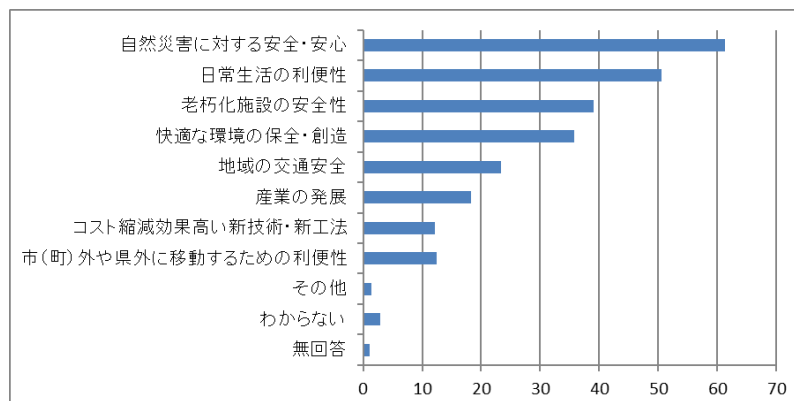
平成30年度県民意識調査（平成30年9月実施）結果から、阪神北地域における社会基盤整備の課題やニーズを以下にまとめています。

阪神北地域における社会基盤に関わる主な課題やニーズ

- (1) 自然災害への備え
 - ・発生確率が高まっている南海トラフ巨大地震対策
 - ・頻発する集中豪雨に対する治水対策、土砂災害対策
- (2) 日常生活の利便性の向上
 - ・地域の交流を支える道路の整備
 - ・慢性的な渋滞緩和や自転車・歩行者の安全対策
- (3) 老朽化施設の改善
 - ・橋梁やダム、公園施設等の老朽化対策



(参考) 平成30年度県民意識調査（平成30年9月実施）結果
社会基盤整備で重視すべき視点（回答数 阪神北：279）



I 「備える」 自然災害に備える防災・減災対策の強化

1 南海トラフ地震等に備える地震対策

南海トラフ地震等による激しい揺れ（レベル2地震動）に備えるため、耐震性能が乏しい橋梁の耐震化など、地震対策や緊急輸送道路の整備・強化を推進

<主な事業予定箇所>

- | | | |
|------------------|------------------|------|
| ・地震対策（道路保全事業） | （主）明石神戸宝塚線〔宝塚大橋〕 | 宝塚市 |
| | （国）176号〔大安橋〕 | 三田市 |
| ・緊急輸送道路の整備（道路事業） | （主）三田後川上線〔志手原Ⅰ〕 | 三田市 |
| | （主）川西篠山線〔屏風岩〕 | 猪名川町 |

2 頻発する風水害に備える総合的な治水対策

近年頻発している集中豪雨等による洪水に備えるため、河川改修などの河川対策や、ため池整備等の流域対策を推進

<主な事業予定箇所>

- | | | |
|--------------|--------------|-----|
| ・河川対策（河川事業） | （二）武庫川〔下流工区〕 | 宝塚市 |
| | （一）猪名川〔中流工区〕 | 川西市 |
| ・流域対策（ため池事業） | 遠谷中池 | 三田市 |

3 土砂災害対策

近年頻発する土砂・流木災害に備えるため、土砂災害特別警戒区域に指定された谷出口周辺やがけ直下に人家があるなど緊急性の高い箇所の「人家等保全対策」として、砂防堰堤等の整備を推進

<主な事業予定箇所>

- | | | |
|---------------|-----------|------|
| ・人家保全対策（砂防事業） | （砂）高次川(2) | 三田市 |
| | （砂）雨森山南谷川 | 猪名川町 |
| | （砂）伏見台北谷川 | 猪名川町 |



整備が進む武庫川温泉地区
（西宮市）



改修が済んだ桃堂池
（宝塚市）



下流の保全対象と完成した
西安谷川砂防堰堤（三田市）

II 「支える」 日常生活や地域を支える社会基盤の充実

1 地域の交流を支える道路整備

地域課題に対応した県道等の整備を推進し、広域的な交流人口の増加を促進

<主な事業予定箇所>

- ・交流人口の増加促進対策（道路事業）

(主) 三田西インター線〔溝口〕 三田市

(一) 切畑猪名川線〔猪渕〕 猪名川町

2 日々の暮らしを支える道路整備

生活道路の慢性的な渋滞を緩和するため、4車線化や道路拡幅、ICの立体交差化による渋滞対策を推進

<主な事業予定箇所>

- ・渋滞対策（街路事業）

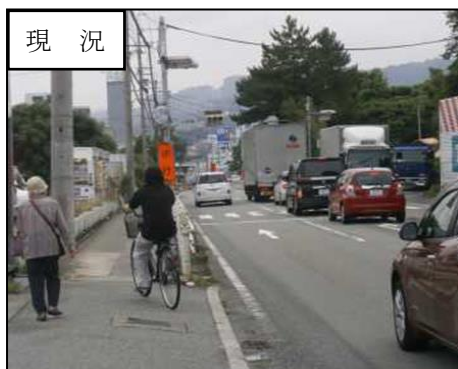
(都) 尼崎宝塚線〔小浜南工区〕 宝塚市

(都) 中筋伊丹線〔中筋工区〕 宝塚市

【地域創生支援事業】

(都) 尼崎宝塚線〔小浜南工区〕

現在2車線の尼崎宝塚線の4車線化、宝塚ICランプの立体交差化により、小浜南交差点、福祉センター前交差点の渋滞緩和、歩道の整備による歩行者の安全確保、無電柱化による防災機能の強化及び都市景観の向上を図る。



3 安心・快適な都市基盤の整備

ゆとりのある道路空間を創出し、安全で快適な都市空間を形成するため、街路整備を推進

<主な事業予定箇所>

- ・歩行者・自転車の安全性確保（街路事業）

（都）尼崎宝塚線〔小浜南工区〕 宝塚市

（都）塚口長尾線〔昆陽南工区〕 伊丹市

（都）呉服橋本通り線〔寺畑Ⅰ工区〕 川西市

4 歩行者・自転車の安全対策の推進

歩道のリニューアルや自転車通行空間の整備による歩行者や自転車の安全対策を推進

<主な事業予定箇所>

- ・安全対策（交通安全施設事業）
 - （一）山本伊丹線 伊丹市
 - （主）川西三田線 三田市
 - （主）塩瀬宝塚線 宝塚市
 - （一）生瀬門戸荘線 宝塚市
 - （主）川西篠山線 猪名川町

5 誰もが安全で安心して暮らせる住まいの提供

安全で安心して暮らせるよう、耐震化・バリアフリー化等の推進や防災・防犯等に配慮した県営住宅の整備を推進

<主な事業予定箇所>

- ・県営住宅事業 宝塚山本住宅 宝塚市

6 力強い農林業を支える農林基盤の整備

需要に応える農業の競争力強化と持続的発展を図るため、農作業の効率化や田畑輪換の可能化により担い手への農地の集積・集約化と高収益作物への転換など高付加価値農業の展開を後押しするほ場整備を推進

<主な事業予定箇所>

- ・ほ場整備事業

玉瀬地区 宝塚市



三田西インター線完成イメージ



整備が進む山本伊丹線の自転車レーン（伊丹市）



効率的な農作業を可能にする玉瀬地区のほ場整備（宝塚市）

III 「つなぐ」 次世代につなぐ社会基盤の形成

1 計画的・効率的な老朽化対策

社会基盤施設の老朽化の割合が急増することを踏まえ、適時適切な修繕・更新により、総コストの縮減と予算の平準化を図るため、計画的・効率的に老朽化対策を推進

<主な事業予定箇所>

・老朽化対策（道路保全事業）	（主）伊丹豊中線〔空港地下道〕	伊丹市
	（国）176号〔大安橋〕	三田市
（河川事業）	青野ダム	三田市
（公園事業）	西猪名公園	川西市・伊丹市

2 都市の環境改善

安全で快適な通行空間を確保するとともに、良好な街並景観を創出し、防災機能の強化にも資する無電柱化を推進

<主な事業予定箇所>

・都市の環境改善対策		
（街路事業）	（都）尼崎宝塚線〔小浜南工区〕	宝塚市
	（都）呉服橋本通り線〔寺畑Ⅰ工区〕	川西市
（交通安全施設）	（一）生瀬門戸荘線	宝塚市



大安橋(三田市)



青野ダム(三田市)



無電柱化した生瀬門戸荘線(宝塚市)

【事業調整箇所】

①同一路線・河川等における先行事業（Ⅰ期事業、下流工区等）や関連事業の進捗を踏まえ着手時期を見極める箇所

(主)三田後川上線(志手原Ⅱ)(三田市志手原)

②執行環境（地元調整、関係機関協議等）が整った段階で事業化を進める箇所

(主)塩瀬宝塚線(宝塚市境野)、(一)切畑多田院線(川西市芋生)、(一)生瀬門戸荘線(宝塚市長寿ガ丘)、(一)島能勢線(猪名川町鎌倉)、(都)荒地西山線(宝塚市千種)

③周辺環境の変化（開発、工場立地、道路ネットワーク等）や、周辺の地域づくりの進展状況など社会経済情勢の動向を見極め事業化を検討する箇所

(一)能勢猪名川線(猪名川町紫合)
有馬富士公園Ⅱ期(三田市加茂)

【略号】(国)国道、(主)主要地方道、(一)一般県道、(都)都市計画道路、(一)一級河川、(二)二級河川

事業箇所・内容は、社会・経済情勢の変化などにあわせ、適宜、見直します。

※1:老朽化対策事業の個別箇所については、「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」において公表しています。

※2:分野別計画にかかる事業は、計画期間に含まれる事業に●を記載しています。

事業箇所図

ご意見・お問い合わせ先

兵庫県 阪神北県民局

〒665-8567 宝塚市旭町2丁目4番15号

宝塚土木事務所

TEL 0797-83-3178・3198

FAX 0797-86-4329

阪神農林振興事務所

TEL 079-562-8912

FAX 079-562-8805

※阪神北県民局のホームページでもご覧いただけます。

URL https://web.pref.hyogo.lg.jp/area/n_hanshin/index.html